

今週（6月15日から6月19日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

無担保コールO/N物については、月曜日・火曜日は0.72%台と先週比横ばいでの推移となり、利上げ後の付利金利が適用された水曜日以降は0.97%台と、25bp上昇した水準での出合いが中心となった。

ターム物は、引き続き四半期末をまたぐ期間での資金調達ニーズが見られており、1.0～1.2%程度での引き合いが中心となった。取引レートのレンジについては、決定会合後も大きな変動は見られなかった。

今週の日銀当座預金残高は445兆円程度からスタートした。貸出増加支援オペの期落ちが18日に7兆円程度、19日に2.4兆円程度あったことから大きく減少し、本日は439兆円程度での着地予想となっている。

●債券レポ市場

債券レポ市場 GC T/N物の出合い水準は、15日は0.75%前後、16～19日は1.005%前後での推移となった。SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移したものの、19日は入札結果を受けてレートが低下した。

18日(木)に実施された1Y入札は無難な結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

19日(金)に実施された3M入札では事前予想対比で強めの結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

CP市場は、機械、卸売、建設など複数の業態で大型発行が実施された。

市場残高は、週を通して概ね24兆円台前半から半ばで推移した。

発行レートは、金融政策決定会合での利上げが織り込まれ、1%を超えるレート水準での出合いが中心となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/15 (月)	69,317.50	2.575	160.12	0.727	0.755	4,453,600
6/16 (火)	69,404.50	2.645	160.25	0.727	0.998	4,452,100
6/17 (水)	69,902.25	2.600	160.39	0.978	0.999	4,470,200
6/18 (木)	71,053.49	2.615	160.71	0.977	1.000	4,403,200
6/19 (金)	71,250.06	2.645	161.13	0.977	1.002	4,387,300

翌週（6月22日から6月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/22 (月)					
6/23 (火)	4月のサービス産業動態統計速報(総務省 8:30)		5Y物 6/24発行 25,000億円		
6/24 (水)	植田日銀総裁(氷見野副総裁代読) 全国信用金庫大会における挨拶 決定会合における主な意見(6月15、16日分 8:50) 5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				5月の米新規住宅販売件数
6/25 (木)	田村日銀審議委員 兵庫県金融経済懇談会における挨拶 1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		20Y物 6/26発行 7,000億円		1-3月期の米GDP確報値 5月の米個人消費・所得支出(PCE) 5月の米耐久財受注
6/26 (金)	6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB3M物 6/29発行 41,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/22 (月) 日銀予想	▲ 300	50,700	50,400	国債補完供給	1,200		1,200	51,600	TB3M発行▲41,000 償還47,000 TB1Y発行▲28,000 償還32,000 5Y償還8,200 10Y償還7,900 20Y償還15,500 流動性供給▲6,500 エネルギー対策借入▲7,300 期日8,300
6/23 (火) 弊社予想	700	▲ 5,000	▲ 4,300				0	▲ 4,300	
6/24 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 28,200	▲ 28,700	全店共通(固)	▲ 8,025		▲ 8,025	▲ 36,725	5Y発行▲25,000
6/25 (木) 弊社予想	▲ 200	9,500	9,300				0	9,300	
6/26 (金) 弊社予想	300	▲ 6,200	▲ 5,900				0	▲ 5,900	20Y発行▲7,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な調達ニーズが見込まれ、0.975~0.978%程度の出合いが中心となるとみられる。ターム物については、引き続き6月末越えを前提とした取引が中心になると見込まれるが、レートについては概ね横ばい圏で推移するとみられる。債券レポ GC T/N物のレートは、0.95~1.01%程度のレンジでの取引を予想する。短国市場は、26日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、月末発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では23(火)に4月のサービス産業動態統計速報、24(水)に植田日銀総裁(氷見野副総裁代読)の全国信用金庫大会における挨拶、決定会合における主な意見(6月15、16日分)、5月の企業向けサービス価格指数、25(木)に田村日銀審議委員の兵庫県金融経済懇談会における挨拶、1-3月期の資金循環統計速報、4月の景気動向指数改訂状況、26(金)に6月の都区部消費者物価指数などが公表予定である。海外では24(水)に5月の米新規住宅販売件数、25(木)に1-3月期の米GDP確報値、5月の米個人消費・所得支出(PCE)、5月の米耐久財受注などが公表予定である。
(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。